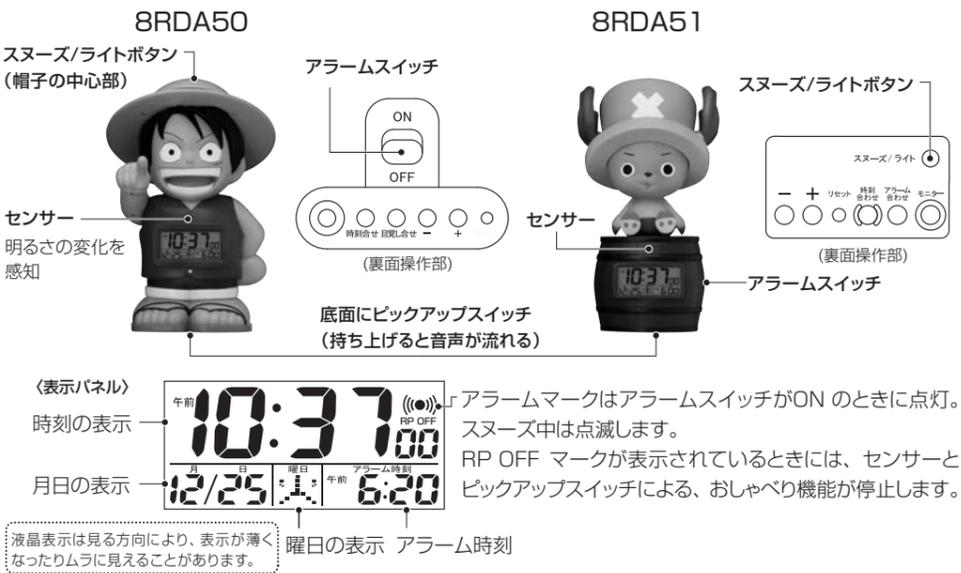




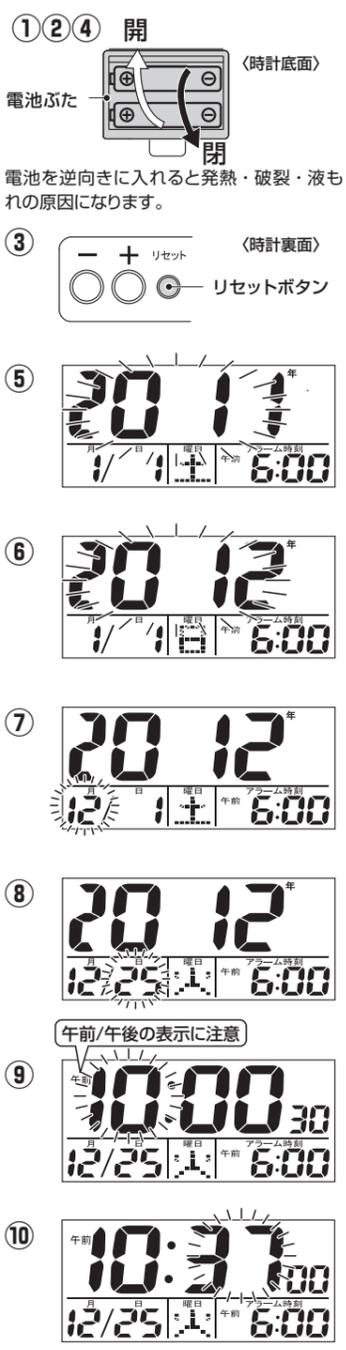
図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



**操作ボタン/スイッチの名称と機能** 製品により、配置や名称の一部が異なりますが機能は同じです。

- モニターボタン アラーム音を試聴するときに押します。
- 時刻合(わ)せボタン 日時を設定するときに使います。
- アラーム合わせ(目覚し合せ)ボタン アラームの時刻を設定するときに使います。
- +/-ボタン 日時とアラーム時刻を合わせるときに使用します。
- スヌーズボタン(ライトボタン兼用) アラーム音の一時停止、表示パネルを照明させるときに押します。
- アラームスイッチ ON: 設定した時刻にアラームが鳴る OFF: 鳴らさない、止める
- リセットボタン 電池を入れたとき、誤作動したときに押します。押すと、日時やアラーム時刻は初期値に戻ります。

## 1. 電池を入れて、日付と時刻を合わせる



**電池を入れる**

- ① 底部の電池ぶたを取り外す
- ② 電池ホルダーの⊕⊖に合せて、単3形アルカリ乾電池を2個入れる
- ③ リセットボタンを押す  
電池を入れた後は、誤作動を防ぐために、ボールペンなどで、必ずリセットボタンを押してください。押すと、日時は2011年1月1日、午前12:00、アラーム時刻は午前6:00の初期値になります。アラームスイッチがOFFのときに押すと、おしゃべりします。
- ④ 電池ぶたを取り付ける

**年月日・時刻を合わせる**

- ⑤ 「年」が点滅するまで、時刻合わせボタンを約2秒間押し続ける
- ⑥ 「年」を+または-ボタンで設定して、時刻合わせボタンを押す → 「月」が点滅
- ⑦ 「月」を+または-ボタンで設定して、時刻合わせボタンを押す → 「日」が点滅
- ⑧ 「日」を+または-ボタンで設定して、時刻合わせボタンを押す → 「時」が点滅  
※ 曜日は自動的に設定されます。
- ⑨ 「時」を+または-ボタンで設定して、時刻合わせボタンを押す → 「分」が点滅
- ⑩ 「分」を+または-ボタンで設定して、時刻合わせボタンを押して設定を終わる  
※ 「秒」は「分」を設定しているときに、+または-ボタンを押すたびに「00」になります。

**ご注意**

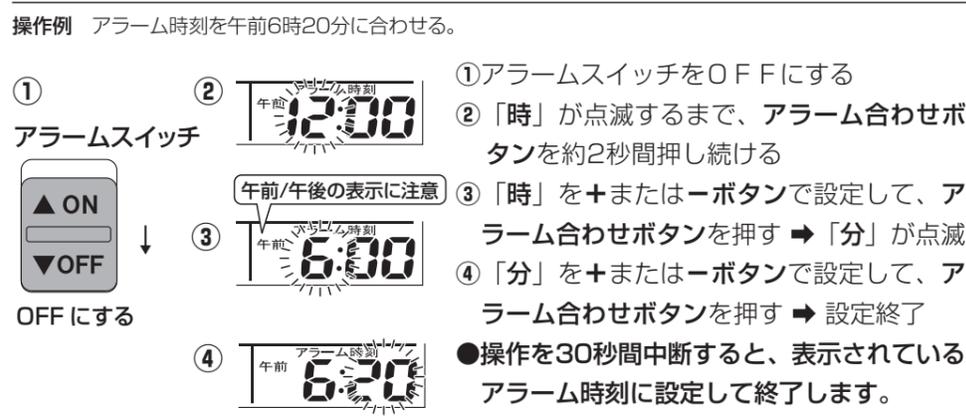
- +または-ボタンを押し続けると数値が早く変わります。
- 操作を30秒間中断すると、表示している内容を設定します。
- 時刻設定中のスイッチおよびボタン操作について
  - アラームスイッチを操作しても音声は流れません。
  - スヌーズボタンを押すと約3秒間照明します。
- カレンダーは、2011年から2099年まで設定できます。

## おもな製品仕様

使用温度範囲	-10 ~ 50℃ *結露しないこと (液晶表示可読温度範囲0~40℃)	アラーム機能	設定時刻に音声が流れる
時間精度	平均月差 ±30秒 (常温中)	アラーム精度	表示時刻に対して ±0秒
使用電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 2個	アラーム音	音声合成
電池寿命	約1年 1日当たり、アラーム音: 30秒、おしゃべり機能: 90秒、照明: 3秒 使用したとき	スヌーズ機能	あり (止めてもまた鳴る)
表示	LCD方式	オートストップ機能	あり (自動鳴り止め)
時刻	午前/午後表示付 12時間表示	音量調節	なし
カレンダー	日付、曜日 2011~2099年まで対応	おしゃべり機能	センサー、ピックアップ、アラームスイッチ連動
※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。		モニター機能	収録音の試聴
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。		照明	表示パネル部照明
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。			
付属品	単3形アルカリ乾電池 2個 取扱説明書/保証書 本書		

## 2. アラーム機能を使う

### アラーム時刻を設定します



### アラームのON/OFFを設定します



アラームスイッチ ON : 設定時刻に鳴る  
▶アラームマーク (●) が点灯します。

アラームスイッチ OFF : アラームを止める  
鳴らさない  
▶アラームマークが消灯します。

### スヌーズ機能..... (止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマーク(●)が点滅して約5分間アラームが停止して、また鳴り出します。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目はスヌーズボタンを押してもアラームは止まりませんので、アラームスイッチをOFFにしてください。アラーム音は、再開するときにランダムに切り替わります。

### アラームオートストップ機能..... (自動鳴り止め)

アラームが鳴っているのを放置すると、約5分間で止まります。このとき、アラームスイッチはONのままです。

### アラームご使用上の注意

アラームスイッチがONのときは、アラームスイッチがOFFにされるまで毎日アラームが鳴ります。使用しないときには、アラームスイッチをOFFにしてください。

### アラーム音の試聴

モニターボタンを押すと、収録されている音を順次再生して止まります。アラーム音を止めるには、

- モニターボタンまたはスヌーズボタンを押す。
- アラームスイッチをONまたはOFFにする。

### おしゃべり機能について

アラーム時刻以外に、次のようなときに音声が流れます。

- ① 時計を持ち上げるとピックアップスイッチがONになり、音声が流れます。
- ② センサーが明るさの変化を感知したとき。
- ③ アラームスイッチをONまたはアラームが鳴っているときにOFFにしたとき。

※アラームスイッチがONのときは(●)が表示され、①と②の機能が停止します。

※①と②の機能を常時停止するには、アラームスイッチをOFFにして、モニターボタンをRP OFFが表示されるまで、約3秒間押し続けてください。機能を有効にするには、アラームスイッチをOFFにして、モニターボタンをRP OFFの表示が消えるまで、約3秒間押し続けてください。

※音量は調節できません。

### 照明機能

スヌーズボタンを押すと約3秒間表示パネルを照明します。

- 明るいところでは、照明の効果は確認できません。
- 照明しているときは、時計正面より斜め上方より見てください。

### アラーム状態のときのボタン操作

アラーム音声が流れているときやアラームマークが点滅しているときには、リセットボタンとスヌーズボタン以外のボタンを押しても機能しません。時刻やアラーム時刻を修正するときには、アラームスイッチをOFFにしてから操作してください。

### 電池の交換について 早めに交換して液もれを防ぎましょう

**注意** 電池からの液もれにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- 液晶表示が薄くなったり、アラーム音が鳴らなくなったときは、すべての電池を新しいものに交換するか、電池を取り出す。
- 古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

### 静電気による誤作動について

静電気の影響により、表示やアラームが正常に機能しなくなることがあります。このようなときには、リセットボタンを押して、現在時刻とアラーム時刻を設定し直してください。